

2018年8月1日から2018年9月30日に
当院で肝臓もしくは膵臓のMRI検査を受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：肝拡散強調像におけるPOCS再構成および重み付け信号加算の有用性：画質改善効果とアーチファクト低減効果

研究期間：研究機関の長の許可日～2019年6月30日

研究責任者：山梨大学医学部放射線医学講座 准教授 本杉宇太郎

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存情報（MRI検査データ等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

MRI撮像時には体動や心臓の拍動による影響で、画像上にノイズが生じてしまいます。このノイズを減少させるために息止め法（撮影中に呼吸を止めさせる）や呼吸トリガー法（胸壁の動きをモニターして動きがないときに撮像）などが行われていますが、ノイズを完全に除去することは難しく、撮像された画像の質を低下させています。

そこで、今回、撮像された画像を再構成する際に、従来の再構成法と異なる4つの再構成法でノイズや画質の比較を行い、よりよい効果が得られるかを検討します。

【研究の方法について】

本研究では肝臓・膵臓をMRIで検査した患者さんに対して、従来の再構成法に加えて4種類の再構成法を使用した画像を比較してノイズの程度と画質を評価します。

【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

2018年8月1日から2018年9月30日に、当院で肝臓もしくは膵臓MRI検査を受けた患者さんで、拡散強調画像において高信号を呈する病変を有する方

〈利用する情報・項目〉

MRI画像

なお、この研究に必要なMRI画像は患者さんのカルテから取り出しますので、患者さんにあらためてお願いすることはありません。

【情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する情報の利用者は、本学医学部放射線医学講座の研究者のみです。

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。

国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報 を 厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益相反について】

この研究には、費用は発生しません。この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

【問い合わせ等の連絡先】

山梨大学医学部放射線医学講座

准教授 本杉宇太郎

メールアドレス： umotosugi@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-6744